

社外秘
- 教育資料 -

2026年度 環境カード読合せ 解説

【テキスト保存先】

V:¥150. 全社環境・省エネ委員会
¥○ I S O 1 4
0 0 1 ¥31. 環境教育資料
¥2026教育資料
¥環境カード解説

2026年5月
全社環境事務局
(安全環境室)

本教育の位置づけ、目的

■ISO14001 7.3 認識 要求事項

組織は、組織の管理下で働く人々が次の事項に関して認識をもつことを確実にしなければならない

- a) 環境方針
- b) 自分の業務に関係する著しい環境側面及びそれに伴う顕在する又は潜在的な環境影響
- c) 環境パフォーマンスの向上によって得られる便益を含む、EMSの有効性に対する自らの貢献
- d) 組織の順守義務を満たさないことを含む、EMS要求事項に適合しないことの意味



当社では【環境カード】読合せを通して、全従業員に対して環境取組み活動の内容とその意味を認識してもらう場としている

目次

「行動憲章」と環境活動の関係	…4
「基本理念」と「基本的考え方」	…5
「環境方針」とISO14001の要求事項	…6
環境目標(単年度・中長期)	…9
重点取組み事項	…12
認識(個人記入欄)	…21
理解度テスト	…23

「行動憲章」との環境活動の関係

■行動憲章(要約版)

私たちは、基本理念に基づき、**企業の社会的責任を果たし**、ステークホルダーからの信頼を得て、**社会の持続的な発展に貢献すべく**、以下の行動憲章を定めこれを遵守し、社会的良識を持って行動することを宣言します。

－中略－

5)社会・地球環境に対する姿勢

環境・社会への責任と貢献

私たちは**地球環境を守るために積極的に取り組み**(中略)**社会貢献活動を通じて良い社会の実現を目指します。**

6)コンプライアンスに対する姿勢

法令等の遵守

法令・規則・社内規定を遵守し、透明性の高い企業活動を推進します。

－後略－

「行動憲章」において地球環境保全活動の推進、法令遵守を宣言

「基本理念」と「基本的考え方」

■基本理念

ものづくりを通し、すみよい社会と人々の幸せに貢献する

■基本的考え方

私達社員一同は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題であることを認識するとともに、良き企業市民としての役割を果たすため、**企業活動のあらゆる面で省資源と人にやさしいクリーンな環境づくりを積極的に展開します。**

環境に対する「基本的考え方」の根底には、「基本理念」がある
企業活動を通して環境にとってよいことを行うことを宣言している

「環境方針」と規格要求事項

■環境方針

1. 環境法令及び利害関係者の要求事項等を順守します。
2. 環境保護に努め、自然と共生できる社会に貢献します。
3. 環境目標の達成のため、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

カードでは
社長名略

代表取締役社長 山口登士也

■ISO14001 5.2 環境方針 要求事項

EMSという

トップマネジメントは、組織の環境マネジメントシステムの定められた適用範囲の中で、次の事項を満たす**環境方針を確立し、実施し維持しなければならない。**

ISO14001では、トップマネジメント＝社長が「環境方針」を確立・実施・維持することになっている

「環境方針」と規格要求事項

■環境方針

1. 環境法令及び利害関係者の要求事項等を順守します。
2. 環境保護に努め、自然と共生できる社会に貢献します。
3. 環境目標の達成のため、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

■ISO14001 5.2 環境方針 要求事項

- a) 組織の目的、並びに組織の活動、製品及びサービスの性質、規模及び環境影響を含む**組織の状況に対して適切である。**
- b) **環境目標**の設定のための**枠組み**を示す。

「環境方針」は、a) 当社の会社の各種状況に見合った内容であり、
b) 環境目標の枠組み＝概要が分かるようになっている

「環境方針」と規格要求事項

■環境方針

「等」には自社で決めた
ルールを含む

- d) 1. 環境法令及び利害関係者の**要求事項等を順守**します。
- c) 2. **環境保護**に努め、自然と共生できる社会に貢献します。
- e) 3. 環境目標の達成のため、**環境マネジメントシステムの
継続的改善**に努めます。

環境保護には持続可能な資源の利用、
気候変動の緩和等を含む

■ISO14001 5.2 環境方針 要求事項

- c) 汚染の予防、及び組織の状況に関連するその他の固有なコミットメントを含む、**環境保護に対するコミットメント**を含む。
- d) 組織の**順守義務を満たすことへのコミットメント**を含む。
- e) 環境パフォーマンスを向上させるための**環境マネジメントシステムの継続的改善へのコミットメント**を含む。

環境方針は、要求事項のc)、d)、e)の3項目と対応させ
「コミット＝責任をもって取組むこと」を宣言している

環境目標（単年度）

■環境目標(単年度)

1. 環境違反・事故・苦情の発生:0件
2. CO₂排出量:26,424ton以下(2013年度比▲42.0%)
エネルギー消費原単位 ▲1%以上(5年平均)
3. 廃棄物排出量:471ton以下(2010年度比▲46.0%)
4. 水使用量:重量原単位 2020年度以下

「環境方針」の内容を元に「環境目標」を設定
数値管理する主な目標は次の4項目、それぞれ「環境方針」に対応

- ① 環境違反・事故・苦情ゼロ(方針1:要求事項等の順守)
- ② CO₂排出量の低減(方針2:環境保護＝気候変動の緩和)
- ③ 廃棄物排出量の低減、④ 水使用量の低減
(方針2:環境保護＝持続可能な資源の利用)

環境目標（中長期）

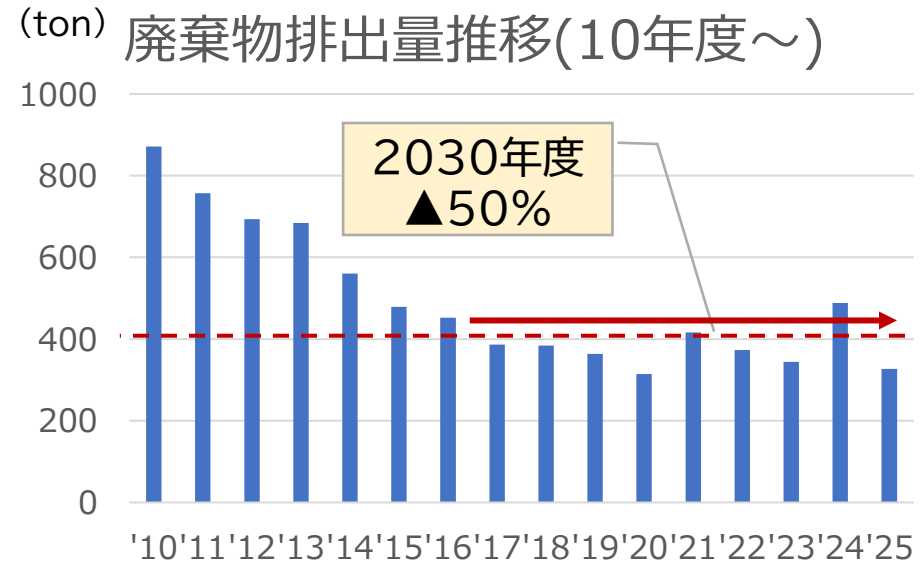
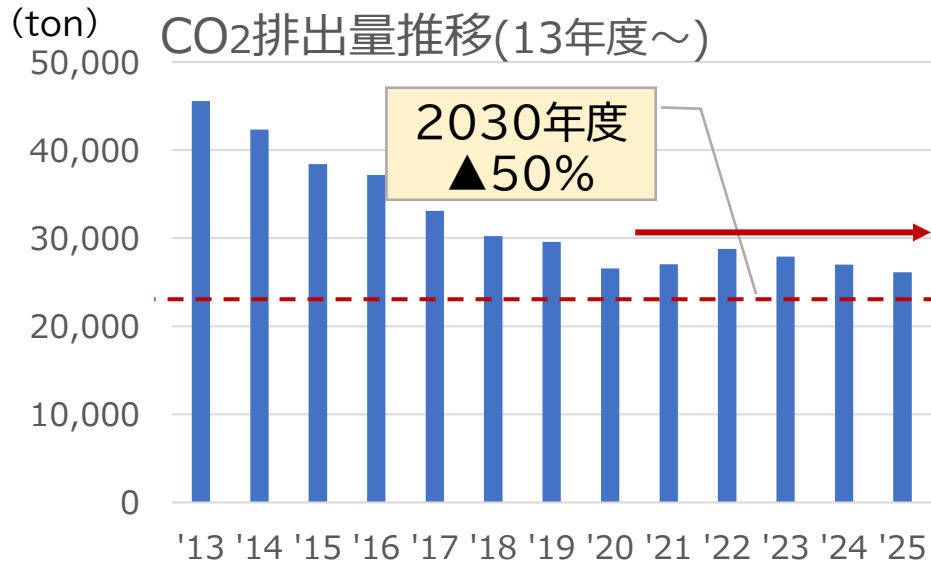
■環境目標(中長期)

1. CO₂削減目標

2030年度▲50%(2013年度実績比)

2. 廃棄物削減目標

2030年度▲50%(2010年度実績比)

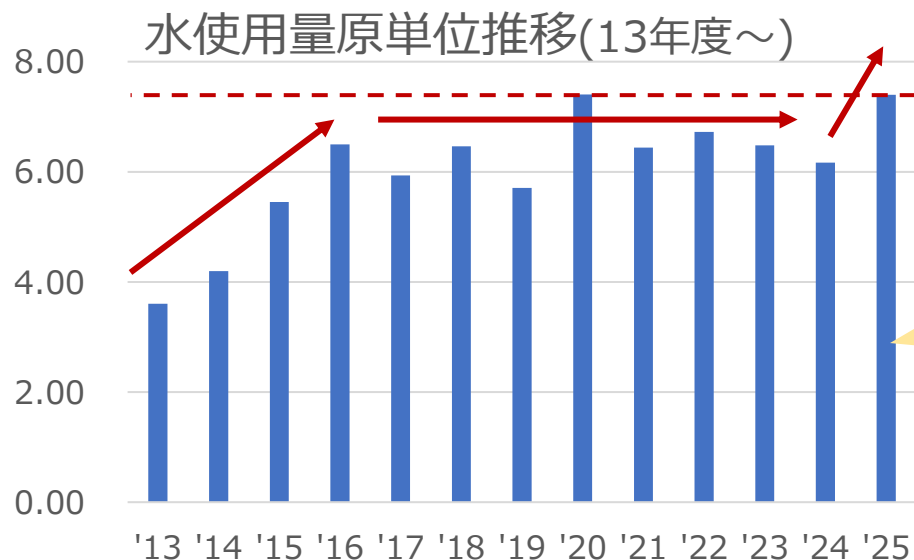


環境目標（中長期）

■環境目標(中長期)

3. 水使用量目標

原単位 2020年度以下



埋設配管破損による漏水が
複数の工場で発生
→水使用量の大幅増

中長期目標必達のため、環境活動へのご協力をお願いします

重点取組み事項

■重点取組み事項

1. 環境リスク管理体制の維持・向上

25年度 不適合 2件、
ヒヤリ 2件発生

■環境不適合処理規定(用語解説要旨)

自職場ではどんな
環境不適合が起こり得る？

環境不適合 当社EMSの要求事項を満足しないこと

環境不適合	環境ヒヤリ
測定結果の 法規制値 の逸脱	測定結果の 自主基準値 の逸脱
環境法令・順守義務 の違反 行政への届出漏れ・遅れ(罰則あり)	会社・サイトの決めごと の違反 行政への届出漏れ・遅れ(罰則なし)
利害関係者から苦情があった場合	苦情があったが 理解を得られた場合
油・薬品・ガス等の社外漏えい	油・薬品・ガス等の社内漏えい
その他、重大な環境影響のあった場合	その他、重大な環境影響になる 可能性があった場合

環境不適合・ヒヤリの起きないように、ルールを徹底
不適合・ヒヤリ事案発見時は直ちに拠点の環境担当に連絡

重点取組み事項

■重点取組み事項

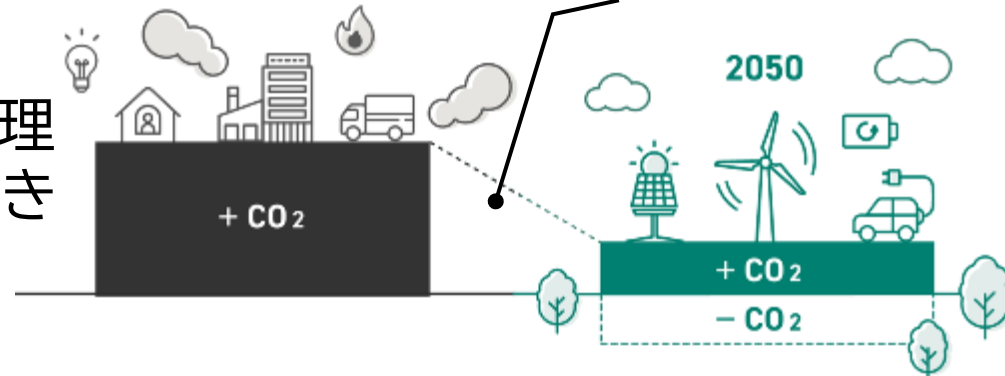
2. カーボンニュートラルに関する取組み
 - 1) 省エネ活動(日常改善・寄停め等)の推進
 - 2) 再生可能エネルギー導入の推進
 - 3) 革新的技術開発の推進

各職場でできる取組み

会社として方向性を決めて進めること

■カーボンニュートラル(CN)

CO₂などの**温室効果ガスの「排出量」**から、植林、森林管理などによる**「吸収量」**を差引き合計を**実質ゼロ**にすること



「省エネ」で減らしてもゼロにはできない

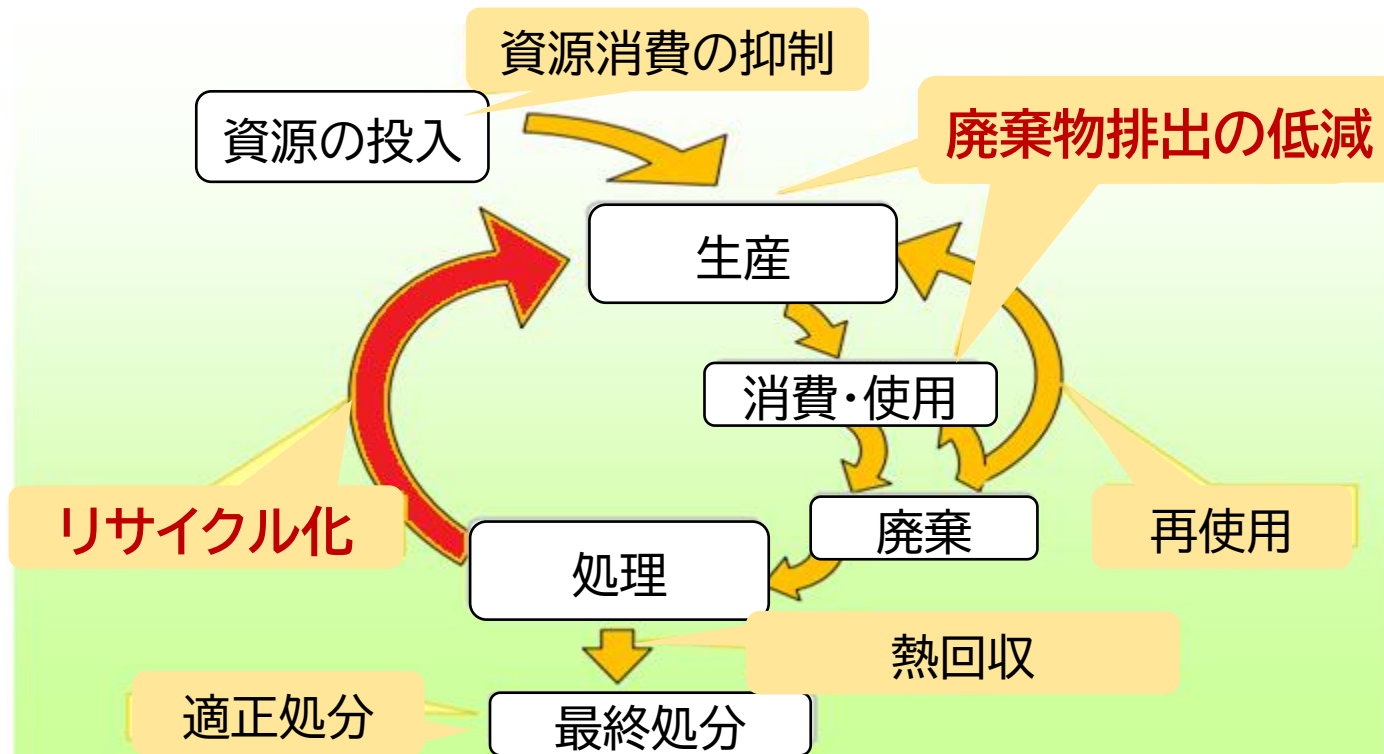
CN実現には、日常改善による**省エネ活動**だけでなく将来的には**革新的技術の開発**(水素・アンモニアの活用など)や太陽光発電・風力発電等の**再生可能エネルギーの導入**が必須

重点取組み事項

■重点取組み事項

3. サーキュラーエコノミーに関する取組み

- 1) 廃棄物排出量の低減
- 2) 排出物のリサイクル化



重点取組み事項

■重点取組み事項

3. サーキュラーエコノミーに関する取組み

- 1) 廃棄物排出量の低減
- 2) 廃棄物のリサイクル化

5 R

3 R

5R	意味	内容	具体例
リデュース Reduce	削減	廃棄物を減らす	不良低減 、梱包資材の削減、 材料歩留まり向上、
リユース Reuse	再使用	繰り返し使う	使い捨てしない 洗浄液をろ過して再利用
リサイクル Recycle	再資源化	資源の再生利用	資源ごみの分別 、リサイクル化
リヒューズ Refuse	拒否	貰わない・買わない	レジ袋を貰わない、不要なものは買わない、過剰包装を断る
リペア Repair	修理	修理して使う	設備や道具を修理して再使用

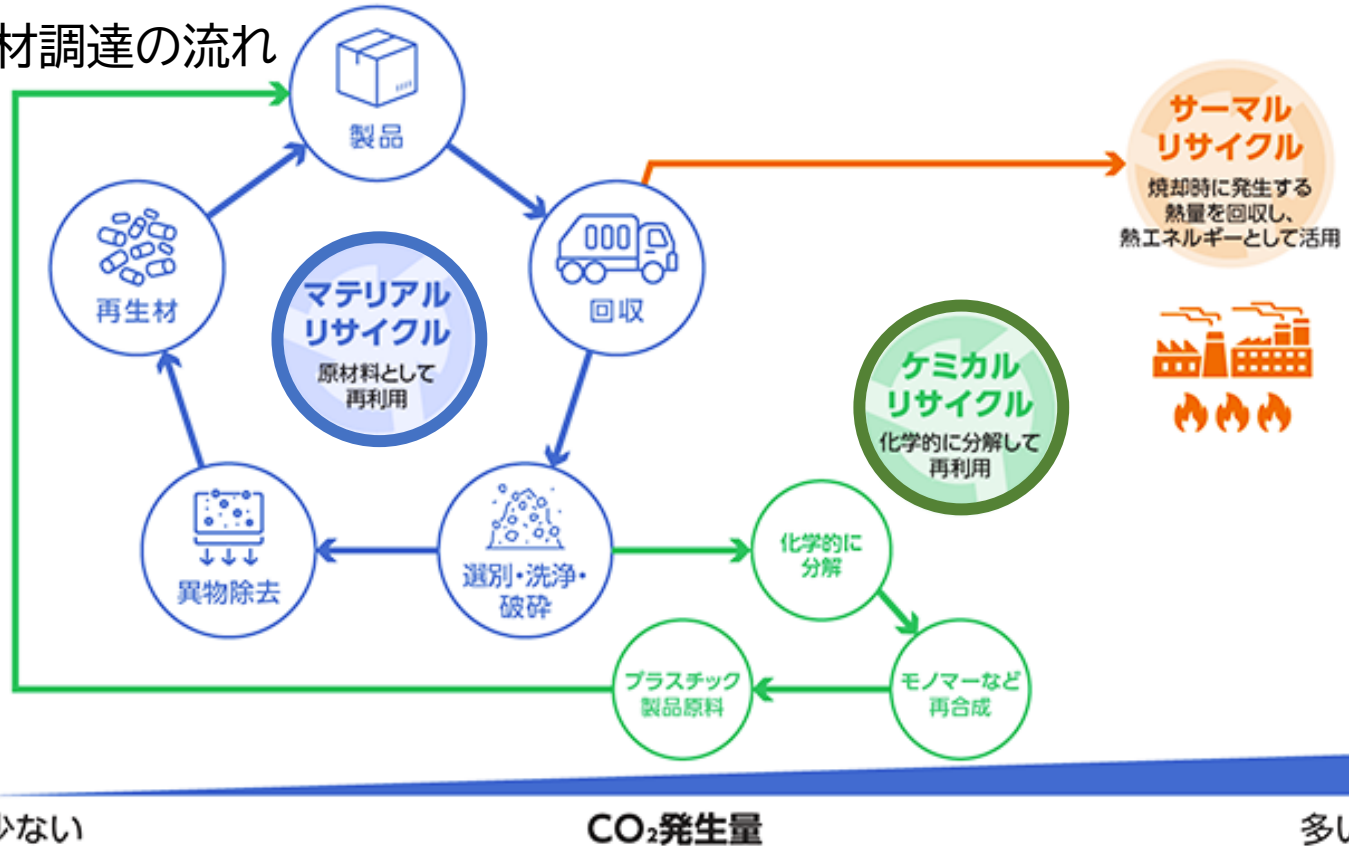
日頃から廃棄物低減・リサイクルにつながる活動を行っている

重点取組み事項

重点取組み事項

3. サーキュラーエコノミーに関する取組み 3) リサイクル材調達の推進

リサイクル材調達の流れ



適切に資源をリサイクルさせるためには【ごみの分別】が大切

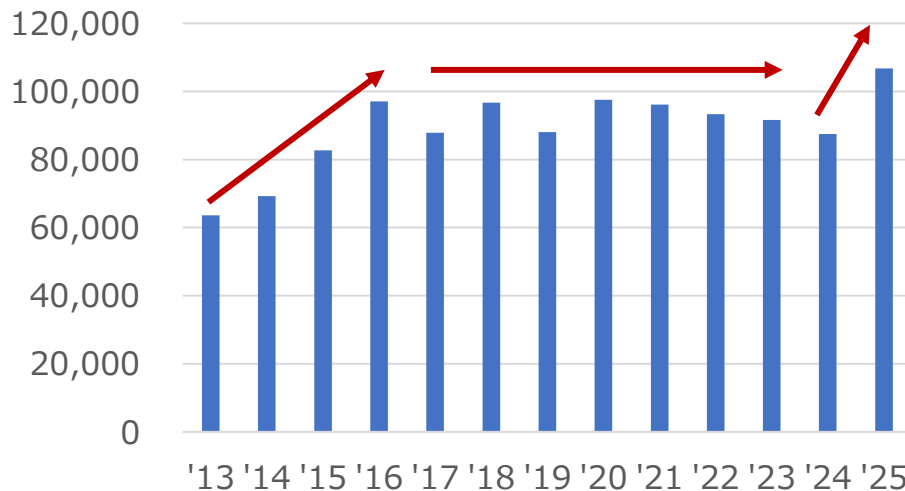
重点取組み事項

■重点取組み事項

4. ネイチャーポジティブに関する取組み

1) 水資源インパクトの最小化

(千m³) 参考水使用量推移(13年度～)



日本は水資源に恵まれているが世界的には以下の水問題がある

- 水の使用量増加
- 衛生設備の不足による水質汚染
- 開発による水源地の破壊
- 水をめぐる紛争
- 世界的な地球温暖化

事業活動に使用する水は各地域の水資源量に依存
 有限な資源を使用しているという認識を持ち、無駄遣いをしない

重点取組み事項

■重点取組み事項

4. ネイチャーポジティブに関する取組み 2) 地域の自然保護活動への参画

【川越】
工場周辺清掃
除草作業と芝桜根裁



【本社・春日井】
公園清掃



【滋賀】
琵琶湖の清掃



【山科】
河川清掃



各拠点で地域清掃ボランティア活動に積極的に参加し、地域貢献

重点取組み事項

■重点取組み事項

5. 環境意識・知識の向上(環境に関する教育の受講)

	項目	内容
環境基礎	「環境カード」解説	「環境カード」内容の意味解説
	ISO14001教育	規格要求事項の解説
	環境問題の解説	CN、CE、NPの解説
環境法令	環境法令の解説	当社に関係する主な環境法令の解説
化学物質	化学物質管理	製品アセスメント、顧客要求の解説
内部監査	環境内部監査員教育	環境内部監査員の養成教育
	チェックシート解説	環境内部監査の監査ポイント解説
	報告書作成の解説	「監査報告書」「是正報告書」作成解説

など

さまざまな環境教育プログラムをご用意しております

重点取組み事項

■重点取組み事項

6. 仕入先環境監査の実施

■ISO14001 6.1.2 環境側面

組織は、EMSの定められた適用範囲の中でライフサイクルの視点を考慮し、組織の活動、製品及びサービスについて、組織が管理できる環境側面及び組織が影響を及ぼすことができる環境側面、並びにそれらに伴う環境影響を決定しなければならない。(後略)

区 分	環境側面	具体的な取組み例
管理できる	当社で使用・当社から排出するもの	エネルギー使用量低減 廃棄物・CO ₂ 排出量低減 など
影響を及ぼすことができる	調達に関するもの 業務委託しているもの など	仕入先環境監査の実施・評価・ 改善依頼 など

会社は環境に良い影響を及ぼすことができることとして仕入先の環境取組み状況を確認し、改善要請することが求められる

認識(個人記入欄)

■個人記入欄

- ・あなたはなにをしますか
(担当業務、自職場でできる環境活動の取組み)
- ・どんな影響がありますか
(上記取組みによる環境負荷低減、有益な環境影響の内容)

■ISO14001 7.3 認識 要求事項

組織は、組織の管理下で働く人々が次の事項に関して認識をもつことを確実にしなければならない

a)環境方針

b)自分の業務に係る著しい環境側面及びそれに伴う顕在する又は潜在的な環境影響

c)環境パフォーマンスの向上によって得られる便益を含む、EMSの有効性に対する自らの貢献

d)組織の順守義務を満たさないことを含む、EMS要求事項に適合しないことの意味

環境カードの解説は以上です

当資料ご確認後、「環境カード」読合せをお願いします

また、○×問題を10問用意していますので、
理解度テストにご活用ください



理解度テスト

理解度テスト

1. 「行動憲章」では地球環境保全活動の推進、法令遵守を宣言している
2. ISO14001では、トップマネジメント＝社長が「環境方針」を確立・実施・維持することになっている
3. 環境方針では、ISO14001の要求事項に対応させ、責任をもって取組むことを宣言している
4. 環境カードには2026年度 環境目標としてCO₂排出量、廃棄物排出量、水使用量の3つを掲げている
5. 2030年度 中期目標としてCO₂排出量・廃棄物排出量を基準年度比▲50%としている

理解度テスト

6. 環境違反・事故・苦情ゼロの継続を掲げているが、当社では直近3年間、環境違反、苦情(環境不適合)ゼロ件である
7. カーボンニュートラルとは温室効果ガスの排出量を完全にゼロにすることである
8. 資源をリサイクルさせるためには「ごみの分別」が大切である
9. 日本は水資源が潤沢にあるので、水を無駄遣いしても問題ない
10. 当社は地域清掃ボランティア活動に積極的に参加し、地域貢献している

理解度テストの回答

理解度テスト

- 1. 「行動憲章」では地球環境保全活動の推進、法令遵守を宣言している
- 2. ISO14001では、トップマネジメント＝社長が「環境方針」を確立・実施・維持することになっている
- 3. 環境方針では、ISO14001の要求事項に対応させ、責任をもって取組むことを宣言している
- ✗ 4. 環境カードには2026年度 環境目標としてCO2排出量、廃棄物排出量、水使用量の3つを掲げている

「環境違反・事故・苦情の発生：0件」を含めて4つあります
- 5. 2030年度 中期目標としてCO2排出量・廃棄物排出量を基準年度比▲50%としている

理解度テスト

- ❌ 6. 環境違反・事故・苦情ゼロの継続を掲げているが、当社では直近3年間、環境違反、苦情(環境不適合)ゼロ件である
- 2025年度はヒヤリを含めた環境違反が4件ありました
- ❌ 7. カーボンニュートラルとは温室効果ガスの排出量を完全にゼロにすることである
- 完全にゼロではなく、排出と吸収の差引き合計で実質ゼロにすることです
- 8. 資源をリサイクルさせるためには「ごみの分別」が大切である
- ❌ 9. 日本は水資源が潤沢にあるので、水を無駄遣いしても問題ない
- 水も貴重な資源のひとつであるので無駄遣いはしないようにお願いします
- 10. 当社は地域清掃ボランティア活動に積極的に参加し、地域貢献している

ご清聴ありがとうございました

